

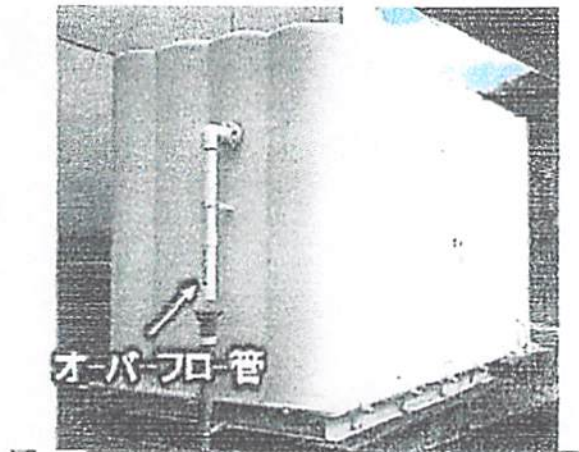
6. オーバーフロー管の状態

管理基準:

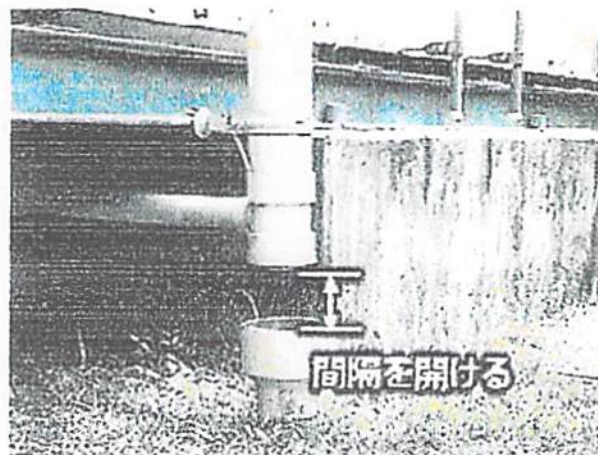
管端部からほこりその他衛生上有害なものが入らない状態にあること。

管端部の防虫網が確認でき正常であること。また網目の大きさは小動物等の侵入を防ぐのに十分なものであること。

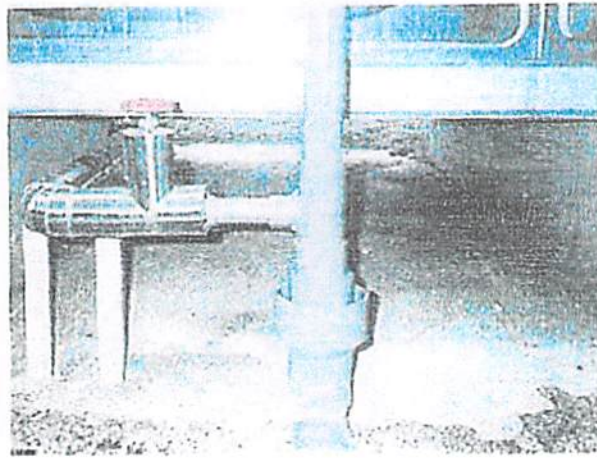
管端部と排水管の流入口とは直接連結されておらず、その間隔は逆流防止に十分な距離であること。



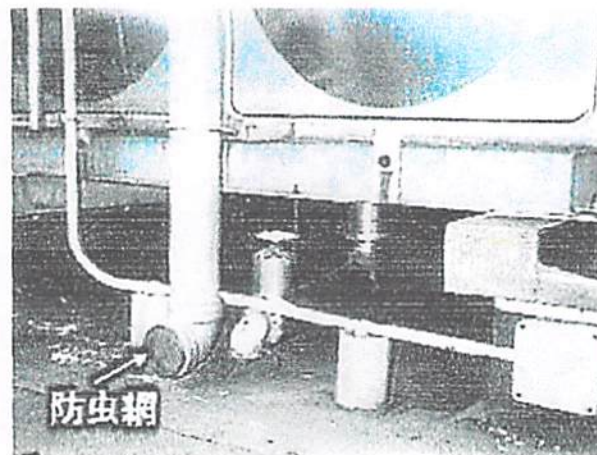
オーバーフロー管は、水槽内の水位がボールタップなどの故障により一定水位を超えた時、その水を有効に槽外へ排水する管で、水槽の設置上不可欠な設備です。



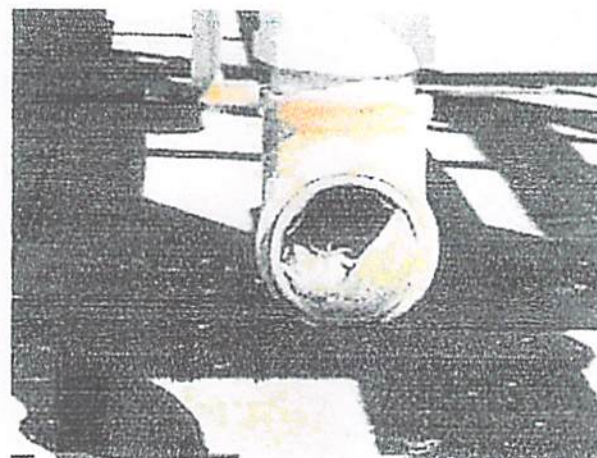
オーバーフロー管の管端部は間接排水とする必要があります。



施設の中には管端部を一般の雑排水が流れ込む排水ピットや排水管に直接連結したり、写真のように管端部が排水受けの中に入ってしまったものがあります。



また、オーバーフロー管は途中で仕切がないため、管端の開口部から埃、小動物その他衛生上有害なものが入らないようにしなければならないので、管端部には、防虫網を取り付けることになっています。



しかし、この防虫網が人為的に破られたり、錆なので目詰まりしていたり、塩素などで腐食破損していることもあるため、日常点検が必要です。

1. 水槽の周囲の状態